



ALL GREENな 神戸の未来づくりに向けて 2025-26 活動報告書



TOTTEI ALL GREEN ACTIONとは

神戸ウォーターフロントから地域・社会課題解決に取り組む民間協業プロジェクト。

『TOTTEI／GLION ARENA KOBE』のエリアと、プロバスケットボールチーム『神戸ストークス』が両輪となり、民間事業者・教育機関・自治体と連携し、地域の活性化やこどもの支援、環境等の課題に取り組みます。

一人ひとりのアクションが積み重なり、相互作用を生むことで「ALL GREENな神戸の未来」を切り拓きます。

神戸ストークスが取り組む5つのテーマ

■ 防災・災害支援

阪神淡路大震災の際、全国各地から支援していただいたことを忘れません。万が一災害が発生したときに、いち早くアクションを起こせるスポーツチームを目指します。

■ 医療

神戸は、日本最大級の医療産業が集まる「医療産業都市」です。私たちはスポーツが持つ“発信力”を活かし、医療に関する情報の発信、啓蒙活動に取り組みます。TOTTEIから健康づくりの輪を広げ、地域社会のウェルビーイングに寄与します。

■ 環境

GLION ARENA KOBEは、100%バイオマス発電の電力で運営されている環境配慮型アリーナです。海と山を望むこの場所から、スポーツの“発信力”を活かして環境問題への気づきを広めます。50年先も、この豊かな自然とともに持続可能な地域・社会であり続けるためのアクションを続けていきます。

■ ダイバーシティ

多様な国籍や背景を持つ選手・スタッフが集まる神戸ストークスでは、日常の中に「多様性」が存在しています。私たちはそれを強みに変え、一人ひとりの個性が輝く社会のロールモデルを目指します。

■ こどもの未来

ストークス（コウノトリ）という名前を持つ私たちは、次世代を担う子どもたちの未来に、誰よりも寄り添う存在でありたいと考えています。神戸市が抱える人口減少という課題に向き合い、子どもたちがこの街で夢を描き、輝けるようなアクションを推進していきます。

TOPIC①

KPMGコンサルティング株式会社と5つのテーマで
社会連携セミナーを実施

神戸ストークスサステナビリティパートナーであるKPMGコンサルティング株式会社とともに、「防災と災害支援」「ダイバーシティ」「医療」「環境」「こどもの未来」の5つのテーマに沿った社会連携セミナーを全5回実施しました。パートナー企業・ファン・地域の皆さまと一体となり、地域社会が抱える課題やチャンスについて共に考え、価値を創り出す「起点となる場」となりました。



TOPIC②

神戸ストークスの選手、チアリーダーズ、全スタッフが
神戸市内の小学校で挨拶運動を実施

夏休み明けで不安を抱える子どもたちに向けて、「学校に行くことが楽しくなる」きっかけづくりを目的に、神戸市中央区内公立小学校10校にて始業式一斉挨拶運動を実施しました。この活動には神戸ストークスの選手、スタッフ、ストークスチアリーダーズ、社員全員で参加しました。今後もコート内外問わず、子どもたちに元気と勇気を与えられる存在になれるよう取り組んでまいります。

『防災と災害支援-つながる力が未来を守る-』社会連携セミナー



社会連携セミナー ～5つの視点から変える、私たちの未来～ の記念すべき第1回目は、「防災と災害支援 -つながる力が未来を守る-」をテーマに開催されました。
神戸ストークスのブースターだけでなく、当日の対戦相手である熊本ヴォルターズのブースターからも申し込みをいただき、総勢36名での開催となりました。

- 日 時 : 10月25日 (土) 15:30～17:00
- 開催場所 : GLION Awa-s Building
- 主 催 : 神戸ストークス
- 共 催 : KPMGコンサルティング株式会社
- 協 力 : 神戸市消防局

KPMGコンサルティングによる講演「個人と地域のつながりを強みに」では、「スポーツも防災も1人ではできない」とのメッセージのもと、人とのつながりの重要性や日頃から備えることの大切さについて具体的な事例を交えて紹介され、スポーツが持つ「つながる力」が、災害時にも活かされることを教えていただきました。

続くトークセッション「震災経験を風化させないために“熊本と神戸の記憶”対談」では、熊本ヴォルターズOBの小林 慎太郎氏をゲストにお迎えし、中西 良太クラブエバンジェリストとトークセッションを行いました。
熊本ヴォルターズ在籍時に両名が経験した熊本地震について、被災の実体験や実際に行った復興支援の取り組みを当時の写真とともに語っていただきました。

最後に、神戸市消防局ご協力のもと、「これからの“備え”と“つながり”を考える」をテーマに、5～6人のグループに分かれ、ダイレクトロード「海辺の町」というワークショップに取り組みました。

参加者からは、「こんなワークショップは初めて。もっと色々な所で開催してほしい」というお声もいただき、大盛況で終わることができました。とても和やかで温かい雰囲気の中、参加者の皆さまと共に“防災と災害支援”について考える貴重な時間を過ごせたこと、心より感謝申し上げます。

『1.17のつどい』



阪神淡路大震災から31年となる2026年1月17日（土）、神戸市の東遊園地で毎年行われている「阪神淡路大震災1.17のつどい」に、神戸ストークスの選手・スタッフ全員で参加し、犠牲者の方々への追悼を行いました。当日はヘッドコーチ、キャプテン、および神戸出身の選手らを中心に、事前に作成した紙灯籠を会場で点灯。地震発生から12時間後にあたる午後5時46分に黙祷を捧げました。ジーライオンアリーナ神戸（GLION ARENA KOBE）の開業後、初めて迎える1月17日。神戸をホームとするストークスにとって、決して忘れてはならない出来事であり、チーム全員で参加できたことは非常に大きな意義をもつ大切な時間となりました。また、本つどいの継続的な開催を支援するため、クラブより寄付を実施いたしました。

『熊本ヴォルターズ 復興支援マッチに中西良太クラブエバンジェリストが出演』



中西良太クラブエバンジェリストが、2014年から6シーズン所属した熊本ヴォルターズのホームゲームで復興支援マッチに参加しました。

中西は2016年の熊本地震を現地で被災しており、当時のチームメンバーと共に復興に携わった経験から、熊本への想いが強く、この度ご招待をいただきました。

【当日の活動】

- ・アリーナロビーにて熊本城復興募金活動の呼びかけ
- ・復興メッセージフラッグへのメッセージ記入
- ・ハーフタイムに熊本ヴォルターズのバスケットボールスクールの子ども達相手にエキシビジョンマッチを実施

中西良太クラブエバンジェリストコメント

「熊本地震から10年。特別な想いで出演させていただきました。

復興マッチに参加した子ども達の中には、震災当時まだ生まれていない人もいました。その子たちとバスケットを通して触れ合えたことがとても感慨深く、貴重な時間になりました。

熊本地震から10年が経過し、パッと見た感じは復興したようにも感じますが、まだ復興できていないところもたくさんあります。皆が当事者意識を持ち、小さくても自分にできることの積み重ねが復興に繋がると、今回の出演を通して改めて感じました。過去から今。今から未来へ。これからも熊本を応援しています。」

神戸ストークスでは、今後も所属選手やOBとともに、震災の記憶を風化させないための啓発活動や地域貢献に努めてまいります。

『神戸ストークスがつなぐ「縁」～この街で共に歩むために～』 社会連携セミナー



社会連携セミナー ～5つの視点から変える、私たちの未来～ の第2回目は『ダイバーシティ』をテーマに開催しました。当日はパートナー企業・ファンの皆さまを中心に42名の方に参加いただきました。

- 日時：2025年12月10日（水）16:00-17:30
- 開催場所：GLION Awa-s BuildinG
- 共催：神戸ストークス・KPMGコンサルティング株式会社
- 協力：株式会社インクルーシブデザインソリューションズ

KPMGコンサルティング株式会社による講演では、People&Changeシニアマネジャー溝口 愛様にご登壇いただき、参加者の皆さまが自身の思い込みや無意識の偏見に気づききっかけとなりました。

続くワークショップでは、株式会社インクルーシブデザインソリューションズご協力のもと、視覚障がい者、車いすユーザー、盲導犬ユーザーの6名のリードユーザーの方々にご協力いただきました。

参加者は7名ずつのグループに分かれ、リードユーザーの皆さまと対話を重ねながら、スポーツやエンターテインメントを誰もが楽しめるための工夫やアイデアについて、活発な意見交換が行われました。

セミナーの締めくくりには、神戸ストークスカプテンの寺園選手、アイザック・バツ選手からのビデオメッセージを上映。プロスポーツの第一線で活躍する選手たちの言葉に、参加者の皆さまも真剣に耳を傾けていました。

参加者の皆様からは、

「自分の中にも偏見、バイアスがあることに気づくいい機会でした。」

「リードユーザーの方とじっくり話したことがなかったので、とても良い機会になった。」

「終始和やかな雰囲気楽しかったです。」

など、多くの感想をいただき、大盛況で終えることができました。

和やかで温かい雰囲気の中、参加者の皆さまと共に“ダイバーシティ”について考える貴重な時間を過ごせたこと、心より感謝申し上げます。

『知的障がい者向けバスケ教室実施』



- 日時：2025年11月日22(土) 10時～12時
- 実施場所：こうべ市民福祉交流センター
- 参加者：神戸市内の特別支援学校および特別支援学級児童・生徒／知的障がいバスケットボールチーム ルンパ 合計21名

【内容】

神戸市教育委員会および神戸市社会福祉協議会では、障がいのある・なしに関わらず、地域の誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを推進しています。その取り組みの一環として、今回、中西 良太クラブエバンジェリストが講師となり、市内の特別支援学校に通う子どもたちを対象にバスケットボール教室を行いました。

参加者の多くがバスケットボール未経験でしたが、障がいの程度がさまざまな中でも、全員がすべてのメニューを最後まで楽しみながら取り組むことができました。互いに応援し合ったり、できる動きを教え合ったりする姿も見られ、温かく前向きな雰囲気にもまれた時間となりました。



『神戸ストークス×LITALICOワークス ボランティア体験』

神戸ストークスは、ホームアリーナであるGLION ARENA KOBEおよび試合開催時におけるユニバーサルデザインの改善、ならびに障がいのある方への合理的配慮の推進を目的に、株式会社LITALICOが運営する「LITALICOワークス」と連携した取り組みを開始しました。

- 日時：2025年12月9日（火） 13:00-17:00
- 場所：GLION ARENA KOBE
- 参加人数：16名

【内容】

試合当日に来場者へ配布されるアssenブリの作業を体験いただきました。最初は緊張した様子や集中力への不安の声も聞かれましたが、参加者同士や周囲のスタッフと協力しながら、終始和やかな雰囲気の中でスムーズに作業を進めることができました。

参加者からは、「最初はできるか不安だったが、最後までやりきることができてよかった」「普段できない貴重な体験ができた」「ぜひ今後も機会があれば参加したい」など、前向きな感想が寄せられました。

なお、参加者の皆さまには翌日の神戸ストークスの試合へご招待し、実際の観戦を通じてアリーナ環境や試合の様子を体験していただきました。

今後も神戸ストークスは、誰もが安心して楽しめるアリーナづくりを目指し、引き続き兵庫エリアのLITALICOワークスと連携しながら継続的に取り組んでまいります。



『社会福祉団体を試合招待』



- 日程：2025年12月28日(日)
- 実施場所：GLION ARENA KOBE
- 参加者：社会福祉法人木の芽福祉会／NPO法人ケアット
- 主催：アイムス株式会社

【内容】

神戸ストークスのパートナー企業であるアイムス株式会社ご支援のもと、神戸市の社会福祉団体 計40名をホームゲームに招待しました。

参加者からは、「近くで試合を観れてとても迫力があつた」「こどもが障がいを持っている特性上、小さい頃はスポーツ観戦に連れていくことができなかったが、友達と楽しそうに過ごしていた姿を見て、成長を感じた」などのお声をいただきました。

後日参加者よりお礼状や感想文をいただき、地域とのつながりやスポーツの持つ力を改めて実感する取り組みとなりました。



『支援学校の校外学習をGLION ARENA KOBEで実施』

- 日程：2026年2月18日(水)
- 実施場所：GLION ARENA KOBE
- 参加者：神戸市立青陽須磨支援学校高等部
- 主催：アイムス株式会社

【内容】

神戸ストークスのパートナー企業であるアイムス株式会社ご支援のもと、特別支援学校の生徒を対象にアリーナ見学会を実施しました。

普段スポーツ観戦への参加が難しい子どもたちに、アリーナを安心して見学できる機会を提供し、施設見学や記念撮影を通じてスポーツやエンターテインメントの魅力を体感していただきました。こどもたちもアリーナへの来場が叶い、終始喜びにあふれた表情を見せてくれました。

今後も特別支援学校の学生を含む、地域のこどもたちがバスケットボールやスポーツに触れる機会を提供してまいります。



『神戸の街から始める！食事と運動 将来のための健康習慣』 社会連携セミナー



社会連携セミナー ～5つの視点から変える、私たちの未来～ の第3回目は『医療』をテーマに開催しました。当日はパートナー企業・ファンの皆さまを中心に45名の方に参加いただきました。

- 日時：2026年2月7日（土）14:30-16:00
- 開催場所：緑の丘（TOTTEI PARK内）
- 共催：神戸ストークス・KPMGコンサルティング株式会社
- 協力：日本イーライリリー株式会社

セミナー前半はKPMGコンサルティング株式会社 シニアマネジャー 山口将大様、日本イーライリリー株式会社 坂口佐知様を講師に迎え、「生活習慣病対策」と「肥満・肥満症の正しい理解」をテーマにセミナーを実施しました。日常生活の小さな行動変容の重要性や、肥満はさまざまな要因が関係する疾患であることについて理解を深め、健康課題への正しい知識と意識向上につながる機会となりました。

続いて、神戸ストークスU18ヘッドコーチ 松崎賢人による運動プログラムを実施しました。バスケットボールを使った運動や、日常生活で取り入れられる運動を参加者全員で体験し、会場は終始和気あいあいとし、笑顔があふれる場となりました。

また、参加者限定で神戸ストークス 管理栄養士兼アシスタントマネージャー 佐藤 美春より、選手の1週間の食事メニューが紹介されました。バランスや栄養価に加え、継続できる食事の工夫について理解を深める機会となりました。

参加者の皆様からは

「健康への意識を上げるきっかけとなりました。」

「日々の生活の中で少し取り入れてみたいと思いました。」

「興味深い話と適度に身体を動かすことができ、非常に満足できた。」など、多くの感想をいただき、大盛況で終わることができました。

和やかで温かい雰囲気の中、参加者の皆さまと共に“健康”について考える貴重な時間を過ごせたこと、心より感謝申し上げます。

『神戸ストークス×日本赤十字社 献血推進』



応募券
献血者コード記入の上、こちらを献血ルームの応募欄に
貼付、または献血会場の職員にお渡しください

神戸ストークスコラボキャンペーン

キャンペーン期間 11月4日(火)～11月21日(金)
応募期間 11月4日(火)～12月31日(水)
場所 兵庫県内献血会場・GLION ARENA KOBE

キャンペーン期間中、県内献血会場にて献血にご協力いただいた方、もしくは11月15日(土)・16日(日)の試合日にGLION ARENA KOBEの献血啓発ブースにて、ラブラッドアプリの登録画面をご提示いただいた方(献血未経験の方も登録可)に
オリジナルステッカーと応募券をプレゼント!

神戸ストークスランタートレーナー(限定100名)
抽選グッズ
神戸ストークスオリジナルステッカー(2枚)
応募券(1枚)

抽選情報

献血者コード: -
当選した場合はグッズ受け取り方法を案内してください
 献血会場で受取可能 ご登録の住所へ発送

兵庫県赤十字血液センターと連携し、献血推進の『GO!STORKS GO!献血』キャンペーンを行いました。

神戸ストークスのホームゲーム会場や兵庫県内献血会場（県内6献血ルーム・期間中の献血バス会場）にてコラボステッカーや抽選券付きチラシを配布し、献血への推進を行いました。また、コラボポスターの掲示や金田選手・中島選手出演のコラボ動画をminamo献血ルーム横のサイネージ・試合会場にて放映し、献血者数の向上に努めました。

■ 2025-26SEASON 活動実績

- ステッカー・応募券配布数 **合計7,902名**
- 期間中献血者数 **15,147名**
- 期間中の初回献血者数 **819名** (昨年度から28名増)



『小児がんと闘う子どもたち、ご家族を試合招待』



- 日時：2026年2月28日（土）18:00～20:30
- 開催場所：GLION ARENA KOBE
- 共催：神戸ストークス・KPMGコンサルティング株式会社
- 協力：公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金
- 実施概要：チャイルド・ケモ・ハウスの代表者挨拶／募金ブースの設置



チャイルド・ケモ・ハウス
公益財団法人 チャイルド・ケモ・サポート基金

「りそなグループ B.LEAGUE 2025-26シーズン 第22節 神戸ストークス vs 横浜エクセレンス」にて、KPMGコンサルティングと連携し、神戸市内で小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族が滞在できる施設の設置・運営を行うチャイルド・ケモ・ハウスとともに、病氣と闘っている子どもたちとご家族を試合に招待しました。

また試合前には代表者挨拶として、チャイルド・ケモ・ハウス代表理事の田村様にご登壇いただき、会場内の皆様に「小児がんと闘う子どもたちとその家族」への応援を呼び掛けていただきました。試合中にはGLION ARENA KOBE内2階にて募金ブースを実施し、大変多くのブースターにチャイルド・ケモ・ハウス基金への募金とSNS広報を通じて取り組み周知を実施しました。チャイルド・ケモ・ハウス広報の後藤様から「チャイケモのことをこれまで全く知らなかった方に知っていただく機会になったと思います。」とコメントをいただき、スポーツを通して社会で闘う方々とそれを応援する人々が触れ合う貴重な機会となりました。

『試合の前に、未来の話をしよう ～スポーツから始まる気候アクション～』社会連携セミナー



社会連携セミナー ～5つの視点から変える、私たちの未来～ の第4回目は『環境』をテーマに開催しました。当日はパートナー企業・ファンの皆さまを中心に44名の方に参加いただきました。

- 日時：2026年3月18日（水） 16:00-17:30
- 開催場所：緑の丘（TOTTEI PARK内）
- 共催：神戸ストークス・KPMGコンサルティング株式会社
- 協力：シン・エナジー株式会社、一般社団法人SDGs in Sports、株式会社大林組

KPMGコンサルティング株式会社による講演では、執行役員パートナー麻生 多恵様にご登壇いただき、脱炭素化の重要性について紹介されました。また、スポーツが人々の感情を動かし、日常の行動変化を促す有効な手段となり得ることが示されました。

続いて「環境にやさしい行動を、スポーツ・スタジアムで広めていくには」をテーマとしたトークセッションを実施。シン・エナジー株式会社 代表取締役 乾 正博様、一般社団法人SDGs in Sports 代表理事 井本 直歩子様、株式会社大林組 夢洲まちづくり推進室理事 赤松 真弥様にご登壇いただき、地域共生・スポーツの影響・建築が生む価値といった視点から、持続可能な社会への理解を深める有意義な場となりました。

セミナー後半では、神戸ストークスのマスコット「ストークー」が登場し、参加者全員で環境クイズ大会を実施しました。クイズを通じて、日々のちょっとした行動の積み重ねが環境改善につながることへの気づきが促され、楽しみながら学べるプログラムとなりました。

参加者の皆様からは、
 「自分ごととして環境について本気で考えていきたいと思った。」
 「スポーツと環境の共創について大変興味がわいた」
 「クイズ大会はとても楽しかった」
 など、多くの感想をいただき、大盛況で終えることができました。
 和やかで温かい雰囲気の中、参加者の皆さまと共に“環境”について考える貴重な時間を過ごせたこと、心より感謝申し上げます。

『こどもが主役！10年後の「神戸の未来のまちづくり」』 ワークショップ



社会連携セミナー ～5つの視点から変える、私たちの未来～ の最終回は『こどもの未来』をテーマに開催しました。当日は11組24名の皆さまに参加いただきました。

- 日時：2026年4月11日（土）13:50～15:30
- 開催場所：KIITO（デザイン・クリエイティブセンター神戸）ギャラリーA
- 共催：神戸ストークス・KPMGコンサルティング株式会社
- 後援：神戸市
- 協力：畑友洋建築設計事務所、KIITO300

KPMGコンサルティング株式会社による講演では、ガバメント・パブリックセクター アソシエイトパートナー 新聞 寛太郎様にご登壇いただき、「こどもとは誰を指すのか」「未来とはいつのことか」といった問いかけを起点に、こどもの未来は遠いものではなく、今を生きる自分たち一人ひとりがつくっていくものであるという考え方が提示されました。

また、人口推移や神戸市の将来ビジョンなどをもとに、10年後の社会やまちの姿について具体的に考える機会が提供され、参加者は日常の行動や選択が未来につながっていることへの理解を深めました。

続いて、ワークショップでは「10年後の神戸にあつらしいもの・こと」をテーマに、廃材を使って参加者が自由にアイデアを出し合い、実際に形にする取り組みを実施しました。こどもたちが主体となって考え、周囲と協力しながら表現する姿は、未来を自分ごととして捉えるきっかけとなりました。

また、神戸ストークスU18のメンバーもサポートとして参加し、こどもたちと一緒に意見を出し合いながらものづくりに取り組みました。憧れの選手たちと交流しながら、和気あいあいとした雰囲気の中でアイデアを形にしていく姿が印象的でした。

参加者からは、「こどもがとても楽しんでよかった。」「神戸ストークスU18のサポートもあり、楽しく過ごすことができました。」「こどもを客観的に見ることが少なかったので、よかった。」などのお声もいただき、大盛況で終えることができました。和やかで温かい雰囲気の中、参加者の皆さまと共に"こどもの未来"について考える貴重な時間を過ごせたこと、心より感謝申し上げます。

『こどもの未来プロジェクト～少年の健全育成支援活動～』



この取り組みは、家庭や学校で悩みや問題を抱える子どもたちを支援する兵庫県警の少年サポートセンターが企画した活動で、スポーツ選手等との交流を通じて将来の目標や夢について考えてもらうことを目的としています。当日は6名の子どもたちが参加してくれました。

- 日程：2025年8月20日（水）
- 時間：13:00～15:00
- 場所：TOTTEI PARK緑の丘、サブアリーナ

この取り組みに参加した中西良太クラブエバンジェリストは、学生時代に挫折した経験や、そこからどのようにしてバスケットボール選手になったかを話し、「自分の好きなことを見つけて、それに向き合ってほしい。好きなことを見つけるために色々なことにチャレンジしてほしい」と伝えました。

交流会の後は、通常は非公開であるトップチームの練習を特別に見学していただきました。

間近で見る迫力のある練習に、子どもたちは真剣に見入っていました。

「今日をとても楽しみにしていた」「憧れの選手に会えて嬉しかった」「自分も頑張りたいと思った」と、子どもたちはとても喜んでくれ、そんな様子を見て我々も元気をもらいました。

『オレンジリボン啓発活動』

11月の「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間」にあわせて、兵庫県・兵庫県警と連携し、ホームゲームでのオレンジリボン啓発活動を実施しました。

- 開催日時
- 11月 8日（土）、9（日）
- 第7節 vs青森ワッツ

- 11月15日（土）、16（日）
- 第8節 vs岩手ビッグブルズ

- 実施場所
- GLION ARENA KOBE

各試合では、川辺ヘッドコーチをはじめチームスタッフ、チアリーダー、全スタッフ、またマスコットのストーカーがオレンジリボンを着用したほか、兵庫県・兵庫県警からの提供のもと、「オレンジリボン啓発クリアファイル」を配布しました。さらには、11月8日および9日には、「オレンジリボン制作ワークショップ」を行い、関西学院大学の学生約15名がボランティアとして参加しました。

オレンジリボン啓発クリアファイルの配布枚数：16,000部



『ひょうご赤い羽根サポーター就任』



神戸ストークスが「じぶんの町を良くするしくみ」として、県内の地域福祉活動や災害支援活動などに役立てられる「ひょうご赤い羽根サポーター」に就任しました。

【就任式】

- 日時：9月9日（火）17:00～17:30
- 開催場所：GLION ARENA KOBE

ストークスからは、代表取締役社長 渋谷 順が出席。兵庫県出身の谷直樹選手・道原紀晃選手からの応援メッセージ映像も上映していただきました。

最後はあかはねちゃんとストッキーがサプライズ登場。参加してくれていた神戸市中央区内の子どもたちとも交流し、温かい雰囲気の中で式典が行われました。

【キックオフイベント】

- 日時：10月1日（水）
- <第1部> 14:30～14:50
- <第2部> 15:10～15:55
- 開催場所
- <第1部> 中央区役所1階ロビー（神戸市中央区加納町6-5-1）
- <第2部> 三宮センター街1丁目（フラワーロード～京町筋～生田筋）

チアリーダーズのSAKI、CONEY、ストッキーも参加し、関係者の皆さまと共に運動開始を宣言し、第2部は三宮センター街に繰り出し、募金を呼びかけました。

『木村 圭吾選手が1日警察署長就任』

兵庫県警察本部の皆様のご協力のもと、木村圭吾選手が生田警察署の一日警察署長を務めました。

この取り組みは、被害が急増している警察官をかたるオレオレ詐欺の手口への注意喚起、特殊詐欺に悪用されるおそれの高い国際電話への対策を幅広く広報することによって、県民の自主防犯意識の高揚を図ることを目的としています。

兵庫県警音楽隊とともに三宮センター街にてパレードを行い、特殊詐欺への理解が深まる貴重な機会となりました。

【概要】

- 日時：8月29日（金）10:50～11:30
- 開催場所：神戸市中央区三宮町1丁目5番三宮センター街1丁目から同町2丁目10番三宮センター街2丁目までの間
- 参加者・参加団体
- 神戸ストークス 木村圭吾選手
- 兵庫県生田警察署長
- 神戸市中央区
- 兵庫県
- 神戸市
- 学生防犯ボランティア ブルーフェニックス隊



『学童保育スポーツ体験実施』

神戸市が推進する「学童保育でのスポーツ体験教室」において、バスケットボール教室を実施いたしました。本取り組みは、子どもたちの外遊びや運動機会の創出を通じて、健やかな成長を支援することを目的としたモデル事業として、2025年8月より開始されました。実施後は多くの児童・保護者の皆さまよりご好評をいただき、2026年度からは市内40か所での本格実施が予定されています。

当日は、中西良太クラブエバンジェリストが講師を務め、ボールに慣れる基礎練習から、ドリブルリレーやシュート対決など、楽しみながら身体を動かせるプログラムを実施しました。バスケットボール未経験のこどもたちにとっても、スポーツの楽しさを体感できる貴重な機会となりました。



■ 2025-26SEASON 活動実績

【実施日】

2025年8月4日（月）
2025年8月6日（水）
2025年9月9日（水）
2026年1月29日（木）

【実施施設】

原田児童館
太山寺児童館
本庄児童館
白川台児童館

『人権スポーツ教室実施』

この活動はストークスの選手と中学生がバスケットボールを通じて触れ合うとともに、選手たちの体験に基づく人権に関わる話を聞くことによって、中学生及び参加者が人権意識の高揚を図る機会とすることを目的に実施されています。

神戸ストークスからは中西良太クラブエバンジェリスト、U18ヘッドコーチ松崎賢人が参加しました。

- 日程：2025年7月28日（月）
- 時間：10:00～11:30
- 場所：西宮市立上甲子園中学校
- 主催：西宮・芦屋人権啓発活動地域ネットワーク協議会
- 協力：神戸ストークス、西宮市教育委員会、西宮市立上ヶ原中学校

バスケットボール教室では基礎練習から対人練習などの実戦形式の練習を実施しました。

その後の「人権」に関する質問コーナーでは、「チーム内でモチベーションの異なる部員同士で、目標のベクトルを揃えるためにどのように関わっていったらいいですか？」など、日頃の悩みに対してこれまでの経験を交えてお話ししました。



『神戸市内の小学校にてチア出前授業実施』



神戸市、神戸市教育委員会と連携し、市内の小学校にて、チアダンス出前授業を実施しました。

【1校目】

- 日程：1月13日（火）
- 場所：神戸市立桜の宮小学校
- 対象：小学校3年生
- 講師：ストークスチアリーダーズ SAKI

【2校目】

- 日程：2月18日（水）
- 場所：神戸市立谷上小学校
- 対象：小学校3年生
- 講師：ストークスチアリーダーズ HIYO

【実施内容】

ハドル（円陣）体験の実施
リズム・ダンスレッスン

今後も本取り組みを継続的に実施し、地域の子どもたちの健やかな成長と学びの充実に貢献してまいります。



『神戸ストークス×南京町 ストークスが街中にあふれる取り組み開始』

神戸の中華街・南京町の商店街振興組合と連携し、試合会場以外でも神戸ストークスを感じていただけるよう、街中連携施策を実施しました。



【GAME DAY Tシャツ着用企画】

- 実施場所
南京町商店街振興組合 加盟店舗（約35店舗）
- 協力
南京町商店街振興組合
株式会社ドコモCS関西 神戸支店

【春節祭イベント出演】

- 実施日時
2月17日（火）
- 出演者
ストークスチアリーダーズ MISATO/HIYO
- 出演内容
イベントステージでのPRタイム
招福ポチ袋くじブースでの写真撮影など



『神戸市中央区小学校10校にて挨拶運動実施』



神戸ストークス全選手・全スタッフ、ストークスチアリーダーズ、ならびに株式会社ストークス全社員が、神戸市中央区内の公立小学校10校にて、始業式に合わせた一斉挨拶運動を実施いたしました。本取り組みは、長期休暇明けに不安を抱える子どもたちへの声掛けや、9月1日前後に子どもの自殺割合が増加するという社会課題を背景に実施したものです。

神戸を拠点とするプロスポーツクラブとして、子どもたちにとって「学校へ行くのが楽しみになる」きっかけをつくるとともに、地域に身近な存在として神戸ストークスを感じていただくことを目的に活動しています。



上筒井小学校では川辺泰三ヘッドコーチと八村阿蓮選手が参加し、神戸ストークスの紹介をした後、ストークスチアリーダーズの越田歩ディレクターとCONEYも参加し、応援の掛け声の練習を共に行いました。

■ 開催場所 (神戸市中央区公立小学校)

神戸市立上筒井小学校

神戸市立湊小学校

神戸市立雲中小学校

神戸市立春日野小学校

神戸市立宮本小学校

神戸市立なぎさ小学校

神戸市立こうべ小学校

神戸市立山の手小学校

神戸市立中央小学校

神戸市立義務教育学校港島学園

『谷 直樹選手がかわにしふるさと大使に就任』

「かわにしふるさと大使」は、川西市にゆかりのある著名人が、市の歴史・文化・産業などの魅力を広く発信し、イメージアップや観光振興に協力する取り組みです。

市民が大使を応援し、大使がふるさとを応援する —— そんな循環づくりを目的とした事業として、川西市が選定しています。

【バスケットクリニック】

- 日程：2026年2月3日（火）
- 場所：川西市立多田中学校
- 参加者：Shining Rabbits 35名

ふるさと大使就任式の前に、川西市立多田中学校を拠点に活動するバスケットボールクラブを対象にクリニックを実施しました。谷選手は、「ただ漠然と練習するのではなく、試合を想定して、1つのドリブル・パス・シュートを大切に。強度を高く、質の良いプレーを意識してほしい」と伝え、自らもプレーで手本を示しながら、子どもたちとともに汗を流しました。



【就任式】

川西市 越田謙治郎市長より認定証が贈呈され、大使の肩書き入り名刺も発行されました。

約20年ぶりに訪れた母校を懐かしみながら、「大使の名に恥じない全力プレーを続けていく」と決意を語り、GLION ARENA KOBEでのホームゲームにもぜひ足を運んでほしいと、子どもたちに呼びかけました。



B.LEAGUE Hopex×日本生命 地域を元気に！バスケACTION「車いすバスケフェス」開催

B.LEAGUE Hopex×日本生命 地域を元気に！バスケACTIONの一環として、B.LEAGUE サステナビリティパートナーの日本生命保険相互会社と連携し、「車いすバスケフェス ～この街でともに歩むために～」を開催しました。車いすバスケを見るだけでなく、体験することを通して、「車いすバスケの魅力」にとどまらず、「違いを楽しむ」「不便を面白さに変換する」などの新しい発想に触れていただく機会を提供しました。

■実施日時

12月27日（土）

■開催場所

GLION ARENA KOBE／TOTTEI

■実施内容

- ① 車いすバスケ体験会
- ② 車いすバスケ日本代表選手によるデモンストレーション
- ③ 車いすフリースローチャレンジ

■主催

神戸ストークス

■連携

日本生命保険相互会社



【車いすバスケ体験会】

事前申し込みをいただいた、小・中学生が参加し、GLION ARENA KOBEのメインアリーナにて、初めて座る競技用車いすでの鬼ごっこや、シュート練習、ミニゲームを実施しました。

講師：

車いすバスケ選手 香西 宏昭／北田千尋／北間優衣、
クラブエバンジェリスト 中西 良太

参加人数：小・中学生13名



【車いすフリースローチャレンジ】

TOTTEI入口付近のプラザにて、車いすに座った状態でのフリースローチャレンジを実施しました。試合前には、香西選手、北田選手、北間選手の3選手も飛び入り参加し、シュートのコツを伝えるなど、多くの方に車いすバスケでのシュートを体験していただきました。

参加人数：約70名



Play, Support.

さあ、支えることを始めよう。



『 B.LEAGUE Hope SMILE HOOP 児童養護施設 双葉学園に笹倉選手とストーキーが訪問』



B.Hope SMILE HOOPの一環として児童養護施設『双葉学園』に笹倉 怜寿選手とストーキーが訪問しました。

「B.Hope SMILE HOOP」とは、日本では7人に1人の子どもが経済的要因などから、学びや体験の機会が少ない環境に置かれてることから生まれる体験格差の課題に対し、バスケットゴールやボールなどの提供を通して子どもたちが気軽に運動を楽しんだり、クラブや選手との交流体験を通して子どもたちに体験の機会を提供し、笑顔の輪を広げていくことを目的に行われている活動です。



- 日時：6月5日（金）
- 開催場所：社会福祉法人 神戸協和会 双葉学園
- 参加人数：施設で暮らす子どもたち約14名
- 訪問選手：笹倉 怜寿選手
ストーキー

B.LEAGUEより寄贈されたバスケットゴールとバスケットボールを双葉学園へお届けしました。寄贈した用具や施設に常設されているバスケットゴールを活用しながら、シュートに挑戦したりボール遊びを楽しみ、子どもたちと笹倉選手、ストーキーとの交流の時間を過ごしました。

その後は、笹倉選手の幼少期のエピソードやプロバスケットボール選手を目指したきっかけについて話し、子どもたちからの質問にも回答しました。終始和やかな雰囲気の中で交流が行われました。最後には子どもたちと集合写真を撮影したほか、施設や子どもたちにサインをプレゼントしました。イベント終了まで笹倉選手やストーキーと子どもたちの交流が続き、笑顔あふれる時間となりました。

